

## 【生活介護事業運営】

### 1 平成 28 年度を振り返って

#### 〔日中活動〕

平日の日課として、作業生活を主とした支援を行ないました。

自主製品においては、利用者の方々も積極的に販売・製作に取り組み、大量注文を受注した際にも、全員一丸となり家族会の協力も得て納期に間に合わせることができました。また、利用者の数名は「見栄えが良くなった方が売れるよね?」と言い、ラッピングの見直しや、他施設の自主製品の見学・研究に出かけたりして、意識の高さを見せてくれるようになってきています。

下請け作業については、昨年まで行なっていたガスコンロ取手組立作業の取引がなくなった為、新しく天白区内の企業から、リサイクル衣料の検品・仕分け作業の契約をし、日々作業の途切れることが無いように確保し、また、マーカーペンの検品作業から段ボール製の緩衝材の作成に切り替わり、多くの利用者が携わることができるようになりました。2 月には、新たに取引先と契約し、今まで下請け作業に携わらなかった利用者にも対応したバネ作業を取入れました。

#### 〔行事〕

徳林寺の販売をスタートとし、随時販売のできるイベント（風まつり・しぜん館感謝祭天白区民福祉のつどい・福祉と映画のつどい・顔の見えるアート展）は積極的に参加しました。

5 月の障害者スポーツ大会では、山下祐さんとグループホームの長屋あさみさんが代表に選ばれ、10 月の全国大会(岩手)に出場しました。

秋のフットベース大会では準優勝し、次年度の事務局を引き受けることとなりました。

ふれあい一泊の旅は二班に別れ行なりました。1 回目は晴天の中、榎本施設長(ひまわりの風)がボランティアとして参加していただき、普段口数の少ない利用者も楽しんだ報告をしてくれるほどであった。2 回目は入浴後に雨が降ってきたが、花火の頃には少雨になり盆踊りは断念したものの、ほぼスケジュールどおり行なうことができました。

バス旅行は、観光バス 1 台とハイエースを使い、家族も参加で掛川花鳥園に行きました。行きと帰りのルートを変えて、道中もサービスエリアの立ち寄りなど楽しむことができました。

感謝祭は、イベント続きであったが職員に奮闘してもらい、隣のスペースが使えなくなるも前年の来場者を上回る勢いで大盛況に終えることができた。近隣の方々にも知名度が上がってきた結果だと思われます。

新年会は、昨年同様にサンプラザシーズンズにて、全体で 90 名ほどの参加者を迎え 2 時間半の時間を有意義に過ごせました。特に、全員が会場内で楽しめたことは、昨年度から一歩前進であると思われる。また、新成人の山下絵理さんのお祝いに、養護学校の先生も駆けつけてくれて嬉しそうでありました。

#### 〔職員体制〕

年度内での入職者 5 名・退職者 1 名で、職員の環境改善がなされました。職員数の確保ができたため、随時外部研修に参加でき、スキルアップに力を入れることができました。

利用者の帰った後の申し送りで問題点に対し意見の交換を行い、早期解決を図ってきました。

#### 〔総括〕

年度初めに入所施設から地域移行としてグループホームを利用することになった 1 名を迎え、昨年度新卒の 3 名と合わせて 4 名の新利用者を含む 34 名の登録利用者でスタートしました。年度内において、本人主体のサービス利用の観点から保護者や相談支援との連携の下に契約解除・新規契約を行い、2 名の契約解除と 2 名の新規契約を行ないました。

天白区役所及び大根のリサイクルショップでの販売や、各イベントに積極的に参加することで工賃確保に努め、また、地域の一員であることを利用者の方々々に伝えてきました。しかしながら、工賃の支給総額が販売と下請け作業の収入を上回ってしまい、家族会からの寄付金に頼るところもあ

りました。

作品展への参加も積極的に行い、2名が表彰を受けることができました。

## 2 開所状況

開所日数 260日 利用者延べ人数 7,231人 平均利用者数 27.8人 稼働率 92.7%

## 3 利用者数の変遷（平成28年度末時点） 人

年度末	23	24	25	26	27	28
男	9	12	13	13	14	14
女	12	13	16	18	18	19
合計	21	25	29	31	32	33

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	2	7	1	2	2	0	14
女	0	7	2	7	2	1	19
合計	2	14	3	9	4	1	33

平均年齢 32.5歳

支援区分	3	4	5	6	合計
男	7	3	4	0	14
女	9	8	2	0	19
合計	16	11	6	0	33

平均支援区分 3.6

## 4 職員体制

平成29年3月末時点

管理者	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者	常勤・専従	1名		
生活支援員	常勤・専従	5名	有期・専従	2名
看護師			有期・専従	1名
事務員（相談員）	常勤・専従	1名		
医師			嘱託医	1名

## 5 生産活動（自主製品作りの販売・下請け）

単位：円

内容	27年度	28年度
クッキーづくり	511,390	526,220
藍染製品（ポーチ、巾着、コースター他）	140,650	187,550
縫製製品（刺繍雑巾、カバン他）	324,122	306,110
手織り製品（ポーチ、ショール他）	44,000	40,340
切り絵製品（作品、はがき）	1,300	300
その他の製品（アクリルタワシ等編み物系）	283,210	232,395
ボランティアさんの作品（ブローチ他）	130,940	369,520
下請け（業務用モップ洗濯、輸入雑貨検品他）	659,986	479,365
合計	2,095,598	2,141,800

※<販売先>

- ・天白区役所（毎週水曜日 10 時～12 時）各種イベント
- ・委託販売先 珈門（喫茶店）

	27 年度	28 年度
工賃(30 名分)	1, 481, 880 円	1, 601, 080
一人月平均	4, 116 円	4, 447

6 職員研修 年間を通して一人 1 回以上は研修に参加

日程	研修名等
6 月 2 日・3 日	新規採用者研修
6 月 3 日	社会福祉法人集団指導
6 月 20 日	障がい者福祉制度研修
6 月 22 日	愛知県障害者就労支援事業説明会
7 月 6 日	見学研修(障害関係)
7 月 7 日・8 日	第 54 回東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会
7 月 9 日	第 54 回心身障害問題を考える集い
7 月 13 日	救急救命講習 I
7 月 15 日	会計基礎研修コース
7 月 28 日	サービス等利用計画作成研修
9 月 2 日	防災管理研修
9 月 7 日～9 日	第 54 回全国知的障害福祉関係職員研究大会(北海道)
9 月 28 日	救急救命研修(普通)
10 月 20 日・21 日	中堅研修
10 月 24 日	障がい者分野別研修(知的)
11 月 8 日・9 日	サービス管理責任者等研修
11 月 14 日	救急救命研修(上級)
11 月 17 日・18 日	基礎研修
11 月 22 日	サービス等利用計画作成研修
11 月 24 日	救急救命研修(名障連)
12 月 6 日	社会福祉施設長セミナー
12 月 7 日	救急救命研修(普通)
12 月 12 日	愛知県社協社会就労センター一部会施設長・管理者研修会
12 月 20 日	新任職員ステップアップ研修
1 月 13 日	施設長・管理者セミナー
2 月 3 日	口腔ケア研修
2 月 8 日・9 日	愛知県知的障害関係施設職員等研究大会
2 月 14 日	社会福祉法人経営者・施設長セミナー
3 月 24 日	障害福祉サービス事業者等集団指導

## 7 主な行事

○は土曜日の行事の日の内容

月	内 容
4	徳林寺花祭りの見学 スポーツ大会の練習会
5	障害者陸上大会参加 事業所間フットベース交流会参加 避難訓練 B B Q (天白公園)
6	フライングディスク練習会参加 名古屋港水族館(班外出)
7	名古屋港水族館(班外出) 風まつり参加 ふれあい一泊の旅(長野県売木村)
8	ふれあい一泊の旅(長野県売木村) 夏期休業 福祉施設絵画展 防災訓練 すいかわりとそうめん
9	バス旅行(掛川花鳥園) 名フィル鑑賞会に参加 ヤクルト工場見学
10	天白区区民祭りで販売 しぜんかん祭り参加
11	てふてふ感謝祭(地域交流) イエローレシートキャンペーン参加 県フットベースボール交流会に参加 あけぼの祭り参加 桃山いきいきフェスティバル参加
12	忘年会 年末年始休業
1	島田神社へ初詣 新年会・成人式・ボランティアさんに感謝する会 福祉と映画のつどい(手話コーラス)
2	名古屋市障害者展示会 避難訓練 東山動物園散策 イエローレシートキャンペーン参加(大高イオン)
3	愛知牧場散策 梅まつり参加(農業センター)

## 【共同生活援助運営】

### 1 27年度を振り返って

6月開所を目指して準備を行いました。利用者の入居は7月に3名入居しました。順次、利用者も職員も人数を増やしていき、初めてのグループホーム・短期入所の運営に無理が無いように勧めていきました。

家庭的なホームの中にも一人暮らし的な部分も織り込まれて折り、それぞれの利用者の方のニーズに沿うように話し合ってきました。

8月、10月、3月に利用者の方が一人入居されましたが、現在、1名空きがあります。

### 2 開所状況 平成27年7月より 定員7人 稼働率64%

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	4	4	5	5	5	5	5	5	6	
延べ利用日数	102	118	120	145	150	140	145	148	171	1,239
利用可能日数	31	31	30	31	30	31	31	29	31	275

#### <年齢>

10代	20代	30代	40代	50代	60代
0	1	3	2	0	0

### 3 職員体制

管理者(生活支援員兼務)	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者 (てふてふ管理者兼務)	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	1名		
世話人			有期・兼務	5名

### 4 職員研修

9月	個別支援計画作成基礎研修
12月	グループホーム世話人研修
1月	個別支援計画フォローアップ研修

## 【短期入所運営】

### 1 27年度を振り返って

まずはグループホームの運営が落ち着いてから短期入所の利用者枠も上げていくように、てふてふの利用者が中心となっています。初めて短期入所を利用される方が多く、健康状態や安全に留意して行いました。

### 2 開所状況 平成27年7月より 定員1名 稼働率46%

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	2	3	2	4	5	2	4	2	4	
延べ利用日数	17	16	11	16	16	11	16	9	17	129
利用可能日数	31	31	30	31	30	31	31	29	31	275

## 【相談支援事業運営】

### 1 一般相談支援(定着)事業 相談件数 1名

	26年度	27年度
主な障害		
知的	1	1
精神	1	0
居住区		
天白区	1	1
名東区	1	0

#### ※課題

遠方ということで、担当をご遠慮された。気を使わせてしまった。近隣の相談支援事業所が引き継がれたので、ご本人にとってもよかったのかもしれない。

### 2 特定相談支援事業

#### (1) 平成27年度新規相談件数 9件(合計89件：内 契約解除累計 24件)

主な障害		居住区		利用されるサービス	
知的	3	天白区	9	生活介護	3
精神	5			居宅支援	4
身体	1			共同生活	1
				行動援護	1

#### (2) 契約解除の事由

事由	サービス利用無	相談支援事業所の変更	老人介護へ	行方不明
件数	11	10	2	1

### 3 職員体制 常勤1名

### 4 職員研修

11月4日 相談援助技術研修

### 5 課題

相談を始めてから3年目という方もいらっしゃるようになりました。

「目標が実現化していく」様子を期待していましたが、支援は難航することが多く、日々の相談に寄り添っているというのが現状でした。ご本人もこの現状から抜け出したいのだけれどうまくいかず焦っていらっしゃることもありました。

次に向けて、目標が叶うという経験は必要な事。アセスメントの中から、踏み出しやすい目標と一緒に考えていくようにしていきます。

### 6 障害児相談支援事業 相談はまだありません。